

学術イベントのお知らせ

立命館アジア太平洋大学

報道機関 各位

2015年11月2日

APU リリース 2015-55

APUで国際レベルの研究に触れる 第13回アジア太平洋カンファレンス開催

Societal Transformation in Asia Pacific: Charting the Waves of Change
～アジア太平洋地域の社会変革：変化の波を図化～

《スケジュール》

日 程：11月7日(土) 9:00～18:30 (基調講演・分科会)
18:40～20:00 (レセプションディナー)
11月8日(日) 9:30～17:10 (分科会)
17:20～18:00 (閉会式・最優秀論文賞発表)

場 所：立命館アジア太平洋大学 H棟2階 H202 (開会式・基調講演・閉会式)
D棟2階 D202～210 (分科会)
カフェテリア (昼食及び、レセプション会場)

言語：英語(一部日本語)

聴講料：全講演・分科会 無料(2日間で38の分科会を実施)

今年度の特徴：近年では、開催していなかった日本語での分科会を開催(8日D203にて15:10～)
学部生向けの分科会、APUの学生によるプレゼンテーションを開催。

テーマ：アジア太平洋地域のビジネスと社会に変化について(7日D202にて14:20～)

発表者数：191名(APU教員・学生は84名)

発表者の国籍：アルゼンチン、オーストラリア、タイ、バングラデシュ、カナダ、中国、ドイツ
ハンガリー、インド、インドネシア、イラン、日本、韓国、台湾、マレーシア、フィリピン、
スウェーデン、アメリカなど 約20の国と地域

来場者数見込：250～300名(発表者・聴講者含 11月1日時点既申し込み数より) ※昨年来場者数：186名

《今年度の基調講演》

日時：11月7日(土) 10:00～10:50 H202

講演者：レックス ビクター O. クルス博士(フィリピン大学ロスバニョス校元学長)

2007年ノーベル平和賞受賞「気候変動に関する政府間パネル：Intergovernmental Panel on Climate Change」米元副大統領アル・ゴア氏も在籍するパネルのメンバー

テーマ：「Holistic Transformation: Key to Ecosystem Resiliency in a Changing World」

変化が激しいこの時代、世界では環境破壊がまだまだ進み、生態系が破壊されている。
今後どのように生態系を回復していくべきか、そのプロセスを提唱する。

※メディアの方向けに、基調講演に限り講演の終了後、日本語で内容解説をいたしますので、ご希望の方はお知らせください。